

技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	<input checked="" type="radio"/> 安全・防災 <input type="radio"/> 維持管理 <input type="radio"/> 環境 <input checked="" type="radio"/> コスト <input type="radio"/> ICT <input type="radio"/> 品質                    （該当する分類に○を付けてください）		
技術名称	はつり棒	担当部署	営業部
NETIS登録番号	QS-170004-A	担当者	重信 康夫
社名等	ビルドメンテック株式会社	電話番号	093-483-3555
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>橋梁床板のコンクリートが鉄筋の腐食による脱落現象が多量の橋梁等で発生し、電動ピックやエアピックではつり落とす工事が増加している。これらのピックはブレーカーと同様ピックのたたく振動が直接身体に影響する事やピック自体の重量を支えてコンクリートをはつらなくてはならない。この為、作業者の身体への負担が大きく厳しい労働環境である。</p> <p>弊社も工事現場で上向き作業が多かった経験から、ピックを支える支持装置の開発に着手した結果、広く施工者の方が使用出来る機器『はつり棒』が完成した。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>はつり棒はステンレス製の棒で、コンクリート面に圧力を掛けるバネを内蔵し施工高さが調整できる機構になっている。使用方法は、はつり棒に電動又はエアピックを専用の取付金具で固定して、バネを押し下げた状態でコンクリート面との高さを調整して使用する。これによりバネの押し上げる力が上方（コンクリート面）に加わる事で手を離してもピックが床板コンクリート面に突き刺さった状態で支持されている。</p> <p>この作用により作業者はピックを自分の力で支える事なく作業ができるので従来の施工に比べて格段に作業者への負担が軽減される。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>これまでののはつり作業は、腕への負荷が大きく10から15分すると作業ができなくなる程の負担があった。はつり棒を使用すると長時間の作業でも腕への負担がほとんど無いため作業効率が上がる事が確認されている。また、はつり棒を使用する事により作業者への安全も期待できる。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>エアピック、電動ピックを使用する上向きコンクリートのはつり作業</p> <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関 1 件（九州 1 件、九州以外 0 件）                  自治体 0 件（九州 0 件、九州以外 0 件）                  民間 10 件（九州 10 件、九州以外 0 件）</p>		

6. 写真・図・表

